磐城新聞 (九日夕刊)
休刊 大祭日第三日曜
定價 壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料 一行五十錢(指定廿錢増)
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

年賀郵便に就て(下)

平郵便局

年賀郵便物はその特別取扱期間内に出になつたものは一月一日引受のものと見做し一月一日の一番先の日附印で引受け郵便物は豫め配達局に送付して置き一月一日の最先便で配達する事になります。それで注意すべき第三は出來るだけ早く御出しなる事です。遅くなりますと年内に配達局に届かぬか或は届いて居つたとしてもあまりに數が多く一回で全部の配達が出來なかつた場合は遅く届いたものは次の便に廻される事があります。そして一月一日に配達ならない様な事になります。それでは夕方になつてから「お早う」と言ふ様なもので甚だ可笑な事になつて了います。

それからも一つは特別扱の期間が二十九日迄であるのにその翌日即ち三十日又は三十一日に「今出せば特別扱を受付けなくとも元日には先方に着くから」なんと言ふお考へからお出しなさる方がありますがこれは大變な間違ひで元日に配達なると言ふのは滅多になく二日か三日頃又は極く近い所になると年内に「明まけして大目出度う」なんと言ふ氣狂が出て來る樣な事になります。それに引受の日附印が十二日三十日なんぞ言ふもので二日や三日頃配達なるんでは汽車旅行をする爲に一時間も先に停車場にかけ付けて居ながらうつかり乗りたくれた様な感じが致します。

それで年賀郵便物は特別取扱の期間内に然も出來るだけ早くお出しなさる樣〱〱御注意を申します。

この年末の繁忙期間中は郵便物の取扱方が色々と平常に異つて居りますから平常の樣なお考へで居られますと急行列車に乗り遅れた所の樣な憂目を見なければならぬ事になります。それで乗り遅れない様にするには以上の事柄に充分御注意下さる事と十二月三十日から一月五日迄に急ぎの御用で御通信なさる時には必ず密封した書狀として御出しなさる事をお忘れならない様たそれだけで充分であります。

累りに年末の御贈答用の小包郵便物をお出しなるならば年賀の繁忙にならぬ内にお出し願いたいと存じます。

逝く……昭和四年

飯野村 生

近ごろ金解禁でいふものに對して各々専門家の立場から議論があるやうだ、無論吾々は金解禁といふものに對する専門的な知識など持ち合せないが、國債貸借の總決算のバランスを取る前提として必要なのかも知れない。

而してそのために國民にのげて儉約をしなくてはならない、儉約をして外國品をなるべく用ゐないで國産品で我慢するか若しくは間に合ふだけに贅澤に流れない程度で我慢するといふ旨傳が全國的に必要以上に利いたやうだ。

勿論國民が奢侈に流れるといふことは嚴に戒めなければならないことにきまつてゐる、が然し吾々はそれはど贅澤でせうか、聞くところによると日本人ほど生活程度の低い國民はない相だ、吾々も可成り粗食粗衣に甘んじてゐる積りだ、それに對してこれ以上に切り詰めよといふのはチト無理のやうにも考へられるその結果は民心は極度に萎靡の近ごろ親民をあげて元氣のないこと夥しいではないか。

金解禁はよいことなのだらう、さうして儉約は更によいことなのだらうしかし如何に産業の合理化などと大聲に叫んで見ても金解禁から來る物價安の影響と極端な民心の萎靡不安から救ふ時季がこれから二年も三年も續かれるのでは國民は草疲れてしまふ。

金解禁が如何によい方法であつても、それが日本の産業組識を破壊するものであつては大變だ、つまり吾々素人の考へ方から見て需要者は極端な私經濟に節約を加へる、さうすると商人の手持品は下落する、すべての生産は制限される、失業者が續出する、さうしてこれ等の影響が農民に還元する農民の購買力が減るといふ結果になる、國家のためとあればこれ等も忍べるだけ忍ばなくてはならないが、國民がこれ程どん底の不景氣を満喫した年はあるまい、かくして昭和四年は暮れる。

講談 幕末奇傑 高山彦九郎 (17)

中西洋々作　布施長春畫

不法の破門 (四)

「彦九郎!」

長藏は、やがて重々しく口を開きました。

「この手紙ではなにかそなたが不法を働いたさうだがそれはまことか」

「叔父上」

彦九郎はその師よりの書面に如何なることが書かれてあるかは知りませんでしたが、苟しくも不法なぞ働いた覺わなぞはございません。師の一龍齋は惡醫松井正庵の友人でされば、どのような讒謗をしたかもはかり知ることが出來ませんでしたが、不法を働いたとは餘りに意外な放言です、彦九郎は屈辱の涙さへ浮べて

「それは餘りでございます そのお手紙には如何樣のことが書かれてあるかは存じませぬが、ひこ九郎不法を働いた覺えは毛頭ございませぬ。

「ふむ、では破門されたわけいふことも自身すら知らぬといふのか」

「さあ、それがでございます」ひこ九郎は叔父の面をぢいつとみつめて

「實は一昨夜、休講したばかりに師のお叱りにあひ、昨夜破門を申し渡されたのでございますが、先生にはかの仔細をくはしう開いて下さらうともなさらぬ……

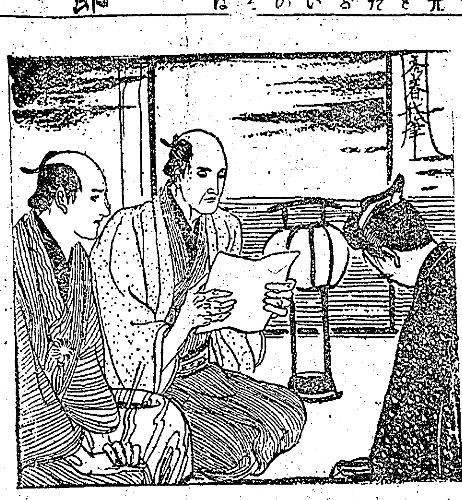
「ふーむ」

長藏は深く吐息をついてもう一度一龍齋の書面に目をやりました

「叔父上」

その時、ともすればひこ九郎に同情し勝ちな叔父をいま〱しさうに見乍ら、傳藏が口を挿みました

「ひこ九郎の巧言にたぶらかされてはなりませんぞ」



一昨夜はお父上の御命にもかゝはらずお禮日ぢやからといふてわたしから鳥目をもつて行つたのですが、これ今白狀しくさつた通り伊勢崎の先生のところへは行かなかつたのでございますよ」

「まあいゝ、そなたは默つてをれ!」

うるささうに、長藏は云いけして

「だがひこ九郎、今傳藏が云ふたことに違ひはないか

「はい、お鳥目はたしかに頂いて參りました、なれど

「ふむ、なれど……」

「なれど、お父上、そのお金は或人に與へて了ひました」

「なに、くれて下つたと」

「はい」

「くれて了つた?云ふのか

長藏にもそれは流石に意外でした。仁義の道を心得たひこ九郎であつて見ればいづれ、由ないものに與へたとも思へませんが、しかし、青錢一貫文と云ふ大金をむざ〱與へてしまつたといふことは一應は無法だといふ氣がしました

「それ。〱〱」が云ひ適

「ちやー」傳藏が腹立たしさうにの〱しりました

「先生の文にも酒色に溺れあとる通り、仁義の美名にかくれて、そちは遊女に血道をあげて通ひつめてゐたの闘や」

「えいツ!けがらはしい」

聞きかねて、長藏がさへぎりました。

「そのような穢らはしいことを口にする奴があるか」

「でも、お父上」

「ねいツ、だまれといふに

焦だたしさうに云つて、傳藏を睨みつけました

彦九郎の、とはわしが正す そちは默つてたれ……彦九郎」長藏はそこで又彦九郎に向き直りました

「それには何か仔細がある樣子。くはしく話してみるがよい」

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟醸
電話(平)七五二

毎月一日新學期開始
生徒大募集 (時間貸歓迎)(規則及び入學案内申込次第進呈す)
自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校茲に見る所あり、有爲の青年の爲め奉仕的破格の授業料を特定し大募集を開始せり。機は熟せり、先づ來りて本校獨特の教授を見られん事を望む。實地練習の長時間にして學資の低廉なること全國無比、本校の最も誇りとする所なり。
本校出身者の受驗者は實に七割以上の合格率を有し、現在入學生七拾餘名の多數成り
本科 三ケ月卒業 三ケ月分 六十圓 學科實習費共
速成科 二ケ月卒業 二ケ月分 四十五圓 學科實習費共
受驗科 一ケ月卒業 一ケ月分 三十圓 學科實習費共
◎受驗準備短期練習部 毎月試驗前開始十日間全學費十圓
◎卒業生は試驗前無料練習の便あり
◎時間貸値下 新フオード、シボレー一時間三圓 T型フオード一時間二圓
公認 磐城自動車學校
福島縣平町四軒町電話六四〇番

平町紺屋町
吉田眼科醫院

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乗心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は 三四三番 サシミ

ヒゲタ醬油
宮内省御用達
銚子醬油株式會社
特約店 平町田町 廣瀬支店
電話五四番

外科 産科 婦人科
醫學博士 藤本順
院長 木村寅次郎
平町新川町 木村病院
電話一六四番

レコードハ此のマーク!
HIS MASTER'S VOICE
TRADE MARK REGISTERED
店員募集
肉聲のビクターレコード
販賣店 會田時計店
平町四丁目(電話三六三番)

心配ゴ無用!
ドンナに惡性頑固な慢性淋病も本劑の強烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に撲殺し、ウミも痛みもケロリと治療す 今すぐ御服用を……
淋病最新薬
トリツクス
平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

高久病院
電話五一三番

七五三御祝着
御花嫁御祝着特賣
金解禁と新安値
全商品の宣傳價
十二月一日ヨリ
人形七五三宮詣り陳列 (十一月二十五日ヨリ)
三井呉服店

七五三祝着の賣出し
七五三の御用意は
ツルヤへ!
可愛らしい子供服
オーバー 四圓五十錢ヨリ
マント 二圓五十錢ヨリ
毛糸エリマキ 六十錢ヨリ
毛シャツ 五十錢ヨリ
子供帽子
箱迫
レース付服エプロン 二十八錢
その他皆樣の御氣に召しますす樣
新しい品を取揃へました
平町四丁目
ツルヤ
電一一四〇

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり栽けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三 五四一番

新たなる陣容を整ひ更新の石城政友部會
木村會長以下役員全部決定
きのふ總會の盛況

石城部政友會部會總會は八日午前十一時より平町有聲座に於て開催本部特派員として香川縣第二區選出代議士山下谷次氏及び佐藤政友支部幹事長の臨席あり安島會長の開會の辭あり次で近年雌伏して居た同政友部會もいよ〳〵活躍期に入るべく先つ會則の大改正に滿場一致決議し後役員の改選に移つたが會長以下各役員全部安島議長の指名で左の如く決定した

▲會長 木村清治
▲副會長 山崎吉平、同古川傳一
▲幹事長 鈴木辰三郎
▲會計監督 阿部政右衛門 關內正一
▲常任幹事 千葉彦治、山田忠太郎、三森虎雄、川崎文治、赤津庄兵衛、武藤豐、遠藤俊一郎、山田磐鷹、渡沼龍輔
▲支部代議員 伊藤淺之助、門馬倉次郎、兒玉萬平、遠藤俊一郎、下山田嘉一郎、平山藤吉
▲相談役 高岡唯一郎、安島重三郎、井上茂作、金成通、小野晋平、伊藤淺之助

而して右役員中、常任幹事は從來二名であつたのを一躍九名に増員し然も何れも少壯者を選び活躍の準備がなつた譯である、次で左の如き宣言及び決議案を可決した

宣言

現濱口內閣が、名を國家經濟の緊縮と金解禁とに藉り産業に適切なる諸內閣の施設を中止、徒らに其辭を大にして國民を委縮せしめ爲めに農商工業の發展を阻害し且つ民衆を失業の不安に陷れんとするは是れ忠良なる帝國臣民の寸時も默過する能はざる所なり、殊に緊縮に籍口して議會機能を蹂躙し爲めに峻嚴惡辣なる政治を行ひ民心を惡化せしめ産業の振興、民福の增進に就いては毫末も顧みる所なく更らに地方行政に至つては民意を暴壓し地方の開發進展に緊切なる事業と雖も徒らに中止繰延べを強要して時勢の要望を阻止せしめ黨利黨略に終始して國家百年の大計を無視するの暴狀は眞に默視に堪へざるものあり、吾々は正閥なる政治の下に吾黨の本來の主張を實現すべく產業貿易の發展を促がし國富の充實を圖り民心を穩健質實に教導して國民美風に資する思ひあらしめんため縣下同意の志と協力し金權の走狗なる僞黨民政黨濱口內閣の潰滅を敢へて宣す

立憲政友會石城部會

決議

一、平小鐵道の實現を期す
一、小名濱商港の速成を期す
一、四つ倉、豐間、中の作各漁港の完成を期す
一、中小商工業者低利資金の圓滑を期す
一、失業者救濟の徹底を期す
一、產業道路速成を期す
一、鮫川流水の復活を期す

右終つて木村新會長の就任挨拶及び鈴木幹事長の就任挨拶並に今期縣會の報告を兼ね縣民を無視した小柳知事の實行豫算編成替の横暴を論難し本部特派山下代議士の現下政局に關する演說があり後懇親會に移り非常なる盛況を呈した

磐城青年同盟總會
七日海氣館で

磐城青年同盟會幹部會は去る七日午後六時より四倉町海氣館にて開催出席會員六十五名、會長木村守江氏の開會の辭を述べ議事協議に移り機關新聞の擴張方法等に付き協議終つて會員の五分間演說あり午後十時盛會裡に散會した

明友藥劑師會の磐城支部臨時總會
山野邊氏支部長に就任
決議案の內容

豫て設立された明友藥劑師會磐城支部の臨時總會は平町南町丸昌ホール內に八日午後二時開催出席十數名山野邊理事開會並に議案提出の理由を說明し各員の質問審議に先つて支部長兼縣支部設立委員長たる關內榮助氏より辭任の申出ありたる爲め直ちに支部長の選擧を施行せるに理事山野邊東次郎氏滿場一致を以て當選し同氏の就任挨拶と藥劑師の將來に關する團体活動の必要を力說し座長に理事渡邊利勇氏就き議事に入り

一、明友藥劑師會福島支部設立の件
二、開局藥劑師の時局對策の件
三、議會請願運動に關する件

を附議し縣支部設立の件は可決、二議案たる開局藥劑師の時局對策に關する件は左のスローガンを決定し大衆運動に取りかゝる事となつた

一、學術及業務に關する事 二、業權の擴張 三、藥學衛生並に宣傳及衛生試驗に應ずる事

と三號議案たる議會請願のん容は藥劑師が多年の主張せる國民生活に重大問題とされたる醫藥分業の實施の現實化の運動二、藥ざいし法案改正請願三、醫業報酬中處方箋料の撤廢請願四、健康保險制度改正に關する請願以上、運動は全動員を以て猛進する事に滿場一致にて可決し議案終了後丸昌樓得の晩餐會を開き頗る盛會裡に六時散會したが役員は左記の如く改選された

(支部長兼設立委員長)山野邊東次郎(副支部長)副委員長瀨尾善之進(理事兼委員)關內榮助、同渡邊利勇諸氏

稅金よりも火災の損害
今年一ケ年で既に十五萬圓
◆―平町の火災損害調べ

平町役場では火災損害の逐年增加して行く事實に鑑み火災の如何に怖るべきものかを知らしめ季節柄火の元用心を徹底させる方針であるが損害調査によれば

年次	度數	金額(圓)
大正十二年	六	三五、九〇〇
十三年	一	三五、五〇〇
十四年	一	一〇、〇〇〇
十五年	一	一、一五〇
昭和二年	三	四三、六二五
三年	五	三三、六六五
四年	五	一三三、三〇〇

にして實に今年は既に十五萬三千三百圓が灰になつた譯けである、而して之れを町民の負擔に比較すると今年度賦課戶數割は九萬五千五百三十圓にして恰度戶數割一年半分が火災によつて損害を蒙つたことになるが更らに火災保險方面の狀況を參酌すると從來千分の九であつた平町の保險料が餘り火災が頻繁に起る爲め今年より保險率は千分の十一に引き上げられ、今平町の火災保險契約高八百萬圓と假定して之れに要する保險料は千分の九とすれば五萬七千圓で濟むのが千分の十一となつては七萬三千圓を要し平町は今年より毎年一萬六千六百圓の負擔過重に甘んずることゝなつたが平町の今年度營業收益稅附課稅は一萬三千四百圓であつて可成り負擔が多いとされてゐるその稅金も保險金の高率による損害よりは少いので町民は如何に火災の恨るべきかを知り充分火の元に注意して欲しいと

植田町の放火公判
平支部で開廷

石城郡植田町大字植田字臺町三二小松敬一(三六)が去る十一月四日夜、內縁の妻本田キヨの實家に放火したるも家人が發見し消止めたので大事に至らなかつた放火未遂事件は來る十一日平支部に於いて千葉裁判長係り武田檢事立會酒井辨護人列席の上開廷される筈

鹽谷崎霧笛信

石城郡鹽谷崎の霧笛信號は過般暴風の際破損したので修理中であつたがこの程竣工吹鳴を開始した

木村代議士歡迎會
歐米の視察談

政友會石城部會閉會後午後一時より萬國商事會議に出席の爲め渡歐し去月中歸郡した本郡選出木村代議士の歡迎會に移つたが出席六百餘名、定刻井上茂作氏開會の辭を述べ次に木村代議士の歐米視察談に移り歐米に於ける產業の合理化及び物質文明特に在米邦人の兒童が大部分優秀なる成績を保持してゐる事は國民の誇りであると同時に海外發展の上に力強き事例である等約二時間に涉り有益な演說あり鈴木幹事長の發聲にて木村代議士の萬歲を三唱し午後三時半散會した

平町竈檢査
十日から五日間

そろ〳〵火災に入り平消防組では火防督勵のため來る十日から十五日までの間警鐘を打ち全組員の非常招集を行ひ全町に亘つて一戶〳〵嚴密なカマド檢査を行ふが平町としては初めての試みである

湯本緊縮講演

石城郡湯本町主催公私經濟緊縮講演會は七日午後一時から湯本小學校に於て開催した內務省參與官が講師として內ケ崎作三郎氏臨み氏一流の雄辯に聽衆を魅了し盛會裡に散會した

死體を掘りおこし兄が首實驗
大舘で死んだ順道(六二)を
年迫る暮の奇談

石城郡好間村大舘靑雲寺境內で病死した長谷川順道(六二)は既報の如く赤井村閼伽井嶽不動瀧の祠守である が死体引取人が無い爲め好間村役場に引渡し假埋葬に付したことが新聞によつて知つた赤井村西小川星野佐七は姓名こそ違つて居るけれども右死者は實弟平之助(六二)に違ひ無ひと九日朝平署へ届け出て死体引取方を依賴したが兄と稱する佐七の言ふ處によると弟平之助は今より二十年前に家出し赤井嶽に立ち籠つて修業してゐた事は聞いてゐたが其後一度も消息がなひので最早や死んだものと思ひ家出の日を死んだ日と定め念佛供養をしてゐたとの爾で死体を掘りおこし首實驗をする事となつた

きのふ聚樂館に家賃値下げの第一聲
正當な權利を要求して即時實行に移る

社會民衆黨石城支部主催の借家借地料値下げ要求平町民大會並に演說會は八日午後一時から平町聚樂館に於て開催した平署からは鯨岡次席警部補臨監、外約二十名の警官出動警戒入場料十錢を支拂つて集まつたもの約二百名、松本氏議長となり中野、吉田兩氏から調査報告あつて直に要求條項を決議主催者側から實行委員十名並に町內各正區長その他約十名をあげることになり演說會にうつり家賃地代値下げ全國同盟中央委員山田忠正氏外數名熱辯を揮ひ午後四時散會した主なる要求條項左の如し

一、家賃三割地代四割値下げ斷行
一、權利金敷金の全廢をなすこと
一、既往における權利金並に敷金は法定利子添へて借家人に返戾すること
一、修繕を要求しても應ぜざる場合は借家人に於て修繕し費用は家賃から控除すること

毛糸編物の即賣會
藤田女學校で

平町藤田女學校では最近毛糸編物製作品が社會各方面に歡迎せらるゝ實況に鑑み婦女の特殊技藝として修得せしむる必要を認め[illegible]より毛糸を無代にて提供し教授細目中の編物教授の徹底を期すべく努力してゐるが來る十一日、十二日の兩日午前九時より午後四時まで同校內に作品展覽會を開催し併せて左記製品の即賣をなす筈だが市價より二三割の廉價であると

小供ケープ、小供セーター、小供袖無セーター、小供袖無羽織、ジャケツ(大小)大人小兒羽織、チヨツキ(大小)羽織下着、男子用襟卷、帽子、寢冷知ラズ、胴卷、手袋、靴下オムツカバー、足袋カバー、鏡臺掛其他

餘罪續々
詐欺や女欺し
にせ鐵道員

平署に捕はれた僞判任官鐵道員宮城縣亘理郡坂本村佐藤忠吉(三五)は取調べの結果某女(三七)平町新川町某女(三〇)の二名も同樣手段でたぶらかした等である、佐藤は元藤原炭礦に働いて居たものゝ餘罪ます〳〵發覺するらしい

家賃値下に就て (四)
大和義一

要するに、都市の住宅問題は非常に複雜の問題であつて單に、財產權の對象物件たるのみでなく社會政策上の見地より之が解決を計らねばならぬ、夫れには都會地の國有を理想的とするも、これは一寸急の間には合はない。

そこで漸進的にも先づ家賃値下げを計る對策として家賃輕減の要素となるべき現在の稅制や法制に向つて一大改善を計ることに猛進せねばならないと思ふ。

最後に借家同盟運動の人々に望むことはその運動方法と手段である。

「家賃の値下げ斷行、涙ある溫情家主に五割減を訴へよ、血なき家主には社會的制裁を加へよ」とのモツトーのもとに平町其他石城郡下においても値下げ運動の開始も始まつたやうだが、社會に存在する家主の全部が果して血も涙もなき惡家主のみであらうか、また借家人の全部が善良なる借家人とのみ斷言することが果して出來得るであらうか、凡てがかく極言するは決して出來得るものではない。

元來、我が國の無產者運動といへばいづれの運動に於ても、その實情と經過とを見るに互に深刻なる階級的意識を以て相對し、殆んど仇敵に對するの心持を以て勝敗を決せんとし甚だしきに至つては、直接行動の擧に出でんとするもの〳〵多きを見受けることは實に遺憾としなければならぬ。一體資本を有するものは資本の力を以て臨めば總ての問題を解決し得ると思ふことが既に間違ひであると同樣に、無產者が組合の力、即ち、結合の力を以て臨めば何事をもなし遂げ得るものと過言して居ることも亦非常なる誤りである。資本家に對抗するため無產者が結合の力によらんとすることは結構であるが、それは、社會の正義に合致する範圍に於てのみ成功するものであつて如何に、結合の力を以てしても國家社會の安寧秩序を紊し、國民の幸福を阻止するが如き行動に出づる時は決して所期の目的を達し得べきものではない。

元來資本家は、無闇に無產者の組合出現を恐れ、此種組合の發達は國家社會を不利に導くが如く思ふのは全然見當違ひである。無產者もまた組合の力に依つて萬事を解決し得るものと思ふことも早計に失する。

要するに、被支配階級者が時の支配階級者に對する運動の目的は單純なる階級的鬪爭ではなくして、もつと〳〵重大なる意義を含んで居る可き筈である。

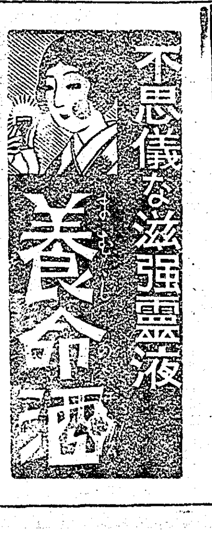
即ち無產者の運動は單なる階級鬪爭ではなく、從つて勝敗が最後の結論でなくして相互に地位を向上し福利を增進することが根本であらねばならぬ。

彼の啓蒙運動の美名に隱れて、資本家對勞働者或は地主對小作間に介在し、甘い汁を吸ひ居る職業的勞働ブローカー輩の迎りつゝあるが如き陋劣極まる手段を以て無暗と、家主對借家人間に階級意識を助長せしむるが如き運動方法をなすことは世の識者の絕對排斥するところである。

故に借家同盟運動の實際指導の立場にある人々も特にこの點に反省して飽までも合理合法的の手段を以て終始して欲しいと思ふのである。

◎ネイションストーブ
◎ネンショウストーブ 値下斷行
連續完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉
◎スタデリナ石油コンロ
◎及、林內式石油ストーブ
燃料經濟薪炭ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在ニシテ体裁優美ナリ緊縮如何ニ最モ理想的國產品デアリマス弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ努メテ薄利多賣主義ヲ以ッテ皆樣ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願上升
日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油會社重油特約店
諏訪電氣株式會社カーバイト特約店
茨城縣下館驛前(電話五五番)
商號 吉田油槽所
本店 關彰商店 常磐線平町一丁目(電話六一番)(九〇二番)
關彰商店平支店

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸病科醫院 (平南町電話一〇七番)



中三圓 大四圓
平町五丁目角 山野邊藥局

毎度御引立に預り御禮申し上げます。肉の季節に入りました今度東京式肉なべを始めました肉こザクの豊富な事其の上値段の安い大勉強是非一度召上りの程御願申し上げます
四倉本町 三一三屋支店
ライオン跡 肉料理 武田屋 電話平一一五 七五

植田町本町 前田醫院 …入院隨時… 電一二四番